

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 197 2026. 6. 1

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4 丁目 698-1

大阪教育大学 理数情報教育系 次世代教育部門 若杉研究室

E-mail: [jsei@jsei.jp](mailto:jsei@jsei.jp) <https://www.jsei.jp/>

## 日本教育情報学会 第 42 回年会の開催に向けて

2026 年 8 月 29 日（土）・30 日（日）の 2 日間にわたり、日本教育情報学会第 42 回年会を鳴門教育大学にて開催いたします。今回の年会では、「未来の航路を照らす学びとデジタルのレゾナンス」を統一テーマとして掲げ、急速に進展する教育のデジタル環境と、その先にある教育の構造的転換について議論を深める場といたします。

生成 AI の浸透は、私たちの学びや思考のあり方に大きな変化をもたらしています。言葉の生成にとどまらず、画像や音楽など多様な表現の創出を通じて、テクノロジーは人間の知的活動と深く結びつき、新たな創造や探究の形を生み出しています。こうした変化の中で問われているのは、技術の導入や効率化にとどまらず、人とデジタルがいかに関わり合い、共に新しい知を創り出していくかということです。

本年会のテーマ「未来の航路を照らす学びとデジタルのレゾナンス」は、まさにその問いに向き合うものです。AI やデータ、ネットワーク技術の発展は、教育の在り方にも多様な影響を与えていますが、どれほど環境が変わっても、「人が学ぶ」という営みの本質は変わりません。むしろ、テクノロジーの進展によって、学びの本質がいかに関わり合い、深められていくのかを見極めることこそ、今の時代における教育情報学の重要な課題といえるでしょう。

「レゾナンス（共鳴）」という言葉が示すように、教育の現場には多様な波が存在します。理論と実践、研究と教育、技術と人間といったように、それぞれの立場や経験、方法が響き合うことで、新たな知の流れが生まれることが期待できます。本年会では、その共鳴の場を通して、教育の未来を見据え、次の航路を描くための議論を深めてまいりたいと考えております。

本会の開催地である鳴門は、潮が出会い、渦を巻きながら新たな流れを生み出す海として知られています。この地において、多様な知と実践が交わり、新しい学びの潮流が生まれることを願っております。多くの皆様のご参加とご発表を、心よりお待ちしております。

最後になりましたが、年会の運営にあたり、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 42 回年会実行委員長 阪東 哲也（鳴門教育大学）

## 第 42 回年会開催要項

開催日	2026年8月29日(土)・30日(日)
会場	鳴門教育大学 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地
事務局	日本教育情報学会第42回年会実行委員会 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地 鳴門教育大学 教師のための AI・DS 研究開発センター 阪東研究室
主催	日本教育情報学会
共催	鳴門教育大学
後援	徳島県教育委員会, 鳴門市教育委員会
年会ウェブページ	<a href="https://www.jsei-nenkai.jp/">https://www.jsei-nenkai.jp/</a> ※本要項からの変更・更新については, 上記ページ(および学会ウェブサイトなど)にて随時, 案内します。適宜, ご確認をお願いします。

### 1 日目のスケジュール 2026年8月29日(土)

時間	会場
9:30～ 12:00	課題研究発表 ICT活用研究会(1) A会場(B103教室) 「AIと教育」研究会 B会場(B104教室) 教育資料研究会(1) C会場(B105教室) 教育技術研究会(1) D会場(B106ラーニング・コモンズ室) グローバル教育研究会(1) E会場(B305教室) 特別支援教育AT研究会(1) F会場(B308教室) プログラミング教育研究会 G会場(B307マルチメディア教育実習室)
12:00～ 13:00	昼食・休憩 理事会・評議員会 B201教室
13:15～ 13:45	総会・学会賞表彰式 B101教室
13:45～ 14:15	研究会活動報告 B101教室
14:30～ 15:30	基調講演 B101教室
15:45～ 17:45	シンポジウム B101教室
18:30～	懇親会 和処とみます 〒772-0002 鳴門市撫養町斎田字大堤 322

2日目のスケジュール 2026年8月30日(日)

時間	会場
9:30～ 12:00	課題研究発表 ICT活用研究会 (2)                   A会場 (B103 教室) IR研究会                                B会場 (B104 教室) 教育資料研究会 (2)                   C会場 (B105 教室) 教育技術研究会 (2)                   D会場 (B106 ラーニング・コモンズ室) グローバル教育研究会 (2)           E会場 (B305 教室) 特別支援教育AT研究会 (2)          F会場 (B308 教室)
12:00～ 13:00	昼食・休憩
13:00～ 16:00	一般研究発表 教材開発                                A会場 (B103 教室) 教育実践                                B会場 (B104 教室) 教科教育・教育方法                   C会場 (B105 教室) 情報教育                                D会場 (B106 ラーニング・コモンズ室) 情報教育・学習評価                   F会場 (B308 教室) オンライン                              オンライン
協賛企業の展示は B102 にて行います。 ※オンラインは E 会場 (B305 教室) で視聴できます。ハイブリッド開催ではありません。	

## 基調講演

日時	2026年8月29日(土) 14:30~15:30
講演タイトル	「学校 Ver.3.0」時代の教師像と教員養成教育の刷新 ーカリキュラム・教育 DX・学習環境の一体的改革による学びの再構築ー
講演者	梅津 正美 (鳴門教育大学 理事・副学長)
司会	長井 映雄 (鳴門教育大学 准教授)
概要	<p>四国の教員養成を担う国立大学として、鳴門教育大学は、「主体的に学び続ける教師の育成」を理念に掲げ、教員養成教育の在り方そのものを問い直す取り組みを進めてきました。近年、教育を取り巻く環境は大きく変化し、デジタル技術の進展や学習観の転換を背景に、学校は「学校 Ver.3.0」とも呼ばれる新たな段階へと移行しつつあります。こうした時代において教師には、知識や技能を伝達する役割にとどまらず、学びを再構築し、学習環境を設計し続ける存在としての力量が求められています。そのためには、教職課程におけるカリキュラムの再編、教育 DX の推進、学習環境の整備を個別に進めるのではなく、一体的に捉え直すことが不可欠です。</p> <p>本講演では、鳴門教育大学における教員養成教育の取り組みをもとに、「学校 Ver.3.0」時代にふさわしい教師像を展望するとともに、カリキュラム・教育 DX・学習環境の一体的改革による学びの再構築について考察します。</p>

## シンポジウム

日時	2026年8月29日(土) 15:45~17:45
テーマ	未来の航路を照らす学びとデジタルのレゾナンス
パネリスト	藤原 伸彦 (鳴門教育大学 教授) 田中 茂道 (城陽市立寺田西小学校 教諭) カーロ・シャーリン (鳴門教育大学 URA) 小熊 良一 (群馬大学 准教授)
コーディネーター	長井 映雄 (鳴門教育大学 准教授)
趣旨	<p>生成 AI などのテクノロジーが急速に浸透する今、その可能性を活かしつつ人間性といかに調和させるかは、未来の教育の航路を定める重要な課題といえます。本シンポジウムでは、「未来の航路を照らす学びとデジタルのレゾナンス」を共通テーマとして、近未来の教員養成、未来づくり志向の教育実践、国際的な教育情報研究の動向、初等中等教育における情報教育 ~ 「道具」から「思考の武器」へ ~ について話題提供を行います。これら四つの視点を、未来へ向かう航路を照らす灯台として位置づけ、それぞれの灯台が示す知見を重ね合わせることで、生成 AI 時代における教育の方向性を描き出すことを目指します。</p>

## 課題研究発表 1 日目

ICT活用研究会 (1) 2026年8月29日 (土) 9:30 ~ 12:00

A会場

テーマ: ICT の力で拓く主体的・対話的で深い学びの未来

—人とデジタルが響きあう学びの創造—

コーディネーター: 石出勉 (東京女子体育大学), 鍋谷正尉 (渋谷区立神南小学校)

- 1AA1 体育授業におけるデジタル教材を用いた自己調整学習の実践  
石出勉 (東京女子体育大学), 豊岡弘敏 (東京女子体育大学)
- 1AA2 Scratch による選挙啓発ゲームの試用評価  
内田保雄 (宮崎産業経営大学), 小野創太 (宮崎産業経営大学),  
藤本将人 (宮崎大学)
- 1AA3 知って得する数学の活用法  
—一人に教えたいくなる日常生活に潜む数学の使い方—  
鬼木一直 (東京富士大学)
- 1AA4 多様な児童がみな楽しく学べる小学校外国語活動の授業づくり  
—児童が楽しめて, しかも剥がれ落ちない力をつけるために—  
片柳木ノ実 (調布市立若葉小学校), 坂井岳志 (世田谷区立八幡小学校)
- 1AA5 生成 AI と GIGA スクール端末の統合による道徳科授業支援アプリの開発  
—「考え, 議論する道徳」の実現に向けた道徳 Navi の設計と活用—  
川合智宏 (国分寺市立第十小学校), 石出勉 (東京女子体育大学)
- 1AA6 ICT 等を活用して「正解のない宇宙」を表現し, 自己有用感を育むインクルーシブ教育の実践  
—ビスケット・ロイロノート等を活用した『心の居場所』づくり—  
公文美貴 (常滑市立大野小学校)
- 1AA7 デジタル・ポートフォリオ機能を統合した学習基盤 HCAI の開発  
—探究プロセスにおける「収集・分析・発信」を支援する情報の可視化—  
荒義明 (CBI 研究会), 木下昭一 (東京学芸大学)

「AIと教育」研究会 2026年8月29日 (土) 9:30 ~ 12:00

B会場

テーマ: 未来につなぐ AI とウェルビーイング

コーディネーター: 野末俊比古 (青山学院大学), 福田美誉 (関西国際大学)

- 1AB1 生成 AI を活用した学習指導案作成におけるコンテキスト設計の実践的検討  
—小学校現場における授業設計支援の可能性—  
畔柳裕介 (静岡県富士市立今泉小学校), 大杉成喜 (皇学館大学)
- 1AB2 AI を活用した文献探索システムの意義  
—アンケート調査に基づくニーズの分析を中心に—  
野末俊比古 (青山学院大学)
- 1AB3 大学生の自己理解を促進する対話型生成 AI 組み込みアプリの開発  
福田美誉 (関西国際大学), 保本正芳 (近畿大学)

**教育資料研究会 (1) 2026年8月29日(土) 9:30～12:00****C会場**

テーマ：学びの可能性を高め教育の質を向上させる教育資料のあり方

コーディネーター：久世均（岐阜女子大学），眞喜志悦子（岐阜女子大学）

- 1AC1 プログラミング体験講座の実践と非認知能力評価に関する研究  
—非認知能力評価に関するアンケート再設計—  
新垣さき（沖縄女子短期大学），比嘉 勇太（沖縄女子短期大学），  
富村寿也（沖縄女子短期大学）
- 1AC2 AIを用いたオンデマンド学習カリキュラムの最適化と学習支援モデルの構築  
—「次世代型オンデマンド学習カリキュラム」の開発—  
久世均（岐阜女子大学），齋藤陽子（岐阜女子大学）
- 1AC3 大学のキャリア教育の授業における学生のアンケート分析  
呉亜矢（大阪学院大学）
- 1AC4 過去の災害遺産を継承する AI 駆動型防災メタバースの開発  
—工場の歴史的データに基づく動的学習シナリオの生成—  
佐藤来海（岐阜女子大学），芦田羽菜（岐阜女子大学），  
山本珠和（岐阜女子大学），横山隆光（岐阜女子大学）
- 1AC5 生成 AI を用いた小学校社会科「地域の発展に尽くした先人」の授業実践  
—沖縄の産業の発展に尽くした儀間真常に着目して—  
眞喜志悦子（岐阜女子大学）
- 1AC6 産官学連携による地域密着型番組制作の実践と教育的効果  
—メタバースと放送メディアを融合した下呂市の魅力発信—  
高島実乃里（岐阜女子大学），丹羽彩花（岐阜女子大学），  
横山隆光（岐阜女子大学）
- 1AC7 メタバースを活用した学校図書館の構築と肢体不自由児の学習支援  
—「物理的格差」解消による教育機会の保障と行動変容—  
高原真実（浦添市立浦添小学校），眞喜志悦子（岐阜女子大学），  
齋藤陽子（岐阜女子大学），横山隆光（岐阜女子大学）

**教育技術研究会 (1) 2026年8月29日(土) 9:30～12:00****D会場**

テーマ：テクノロジーの進展と教育技術の活用

コーディネーター：佐藤典子（甲子園大学），治京玉記（大阪人間科学大学）

- 1AD1 水俣病に関する中学校社会科（地理的分野）の授業プランの提案  
—単元「九州地方」における授業実践の考察を通して—  
奥村信夫（滋賀大学教育学部附属中学校）
- 1AD2 講義型音楽授業における音程判断反復練習の授業運用設計  
加茂文吉（玉川大学）
- 1AD3 高等学校家庭科における1人1台のパソコン使用による授業の実践  
佐藤典子（甲子園大学）
- 1AD4 入学前準備課題におけるAI搭載型ドリルの利活用に関するパイロット研究  
—基礎学力向上を目指す新たなアプローチ—  
治京玉記（大阪人間科学大学）

**グローバル教育研究会 (1) 2026年8月29日(土) 9:30～12:00****E会場**

テーマ：グローバル教育における国際連携と新たな知の創出

ー近未来社会を見据えたグローバル人材育成と生成AIの活用の可能性ー

コーディネーター：清水義彦（富山県立大学），陳那森（関西国際大学）

- 1AE1 日本の若者の国際競争力を涵養する協働的探究型英語学習  
ー日本の高校生が海外同世代とのペア探究活動の最終検証ー  
清水義彦（富山県立大学）
- 1AE2 TRAEによる中古教科書交換サイトの開発  
袁韜軒（琉球大学），内田佳老（曲阜師範大学），袁広偉（曲阜師範大学）
- 1AE3 中国における介護分野での人工知能（AI）の活用  
韓慧（曲阜師範大学），袁広偉（曲阜師範大学）
- 1AE4 日中翻訳における Deepseek の誤訳分析  
曲建吉（曲阜師範大学），袁広偉（曲阜師範大学）
- 1AE5 中日韓三カ国留学生政策の比較及び中国留学政策革新的管理に関する研究  
金玉花（青島濱海学院）
- 1AE6 日本の就職情報プラットフォームにおける留学生の情報アクセス障壁とICT支援の可能性  
齋藤勝洋（関西国際大学）

**特別支援教育AT研究会 (1) 2026年8月29日(土) 9:30～12:00****F会場**

テーマ：多様なニーズを支えるATと共に描く学びの未来地図

コーディネーター：小川修史（兵庫教育大学），新谷洋介（金沢星稜大学）

- 1AF1 特別支援学校（肢体不自由・病弱）における入出力支援機器（視線入力装置）の整備・運用に関する現状  
新谷洋介（金沢星稜大学），大井雅博（帝京大学），金森克浩（帝京大学）
- 1AF2 児童生徒のセルフアドボカシーを意識した対話と対象とした教師向け気づき獲得支援システムの検討  
池田悟（兵庫教育大学大学院），伊藤海都（兵庫教育大学），  
小川修史（兵庫教育大学）
- 1AF3 建設的対話プロセスにおける教師の理解と児童生徒のニーズの間に生じる差異認識支援システムの検討  
伊藤海都（兵庫教育大学），内田佳那（東京大学先端科学技術研究センター），  
池田悟（兵庫教育大学），松景実央（兵庫教育大学），  
小川修史（兵庫教育大学）
- 1AF4 特別支援学校教諭免許状教職課程におけるICT活用能力の育成1  
ー教員養成系大学のアンケート調査よりー  
大井雅博（帝京大学），金森克浩（帝京大学）
- 1AF5 特別支援学校教諭免許状教職課程におけるICT活用能力の育成2  
ー中央教育審議会ワーキンググループに示された課題についてー  
金森克浩（帝京大学），大井雅博（帝京大学）
- 1AF6 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導・支援のための教育情報に関する研究5  
ー日本語指導の必要な児童・生徒の教育と特別支援教育との関連からー  
太田容次（京都ノートルダム女子大学）

- 1AG1 多様性を包摂した学習者主体のプログラミング教室実践  
後藤和男（関市立富岡小学校）
- 1AG2 異機種ドローンの統一的制御を実現するプログラミング教育環境の構築  
庄司衣吹（皇學館大学大学院），大杉成喜（皇學館大学）
- 1AG3 データ分析用語としてのSQL  
—高校・探究でのデータ分析ツールとしての提案—  
室谷心（松本大学）
- 1AG4 生成AI時代のプログラミング教育の考察  
—先行研究からの示唆を中心に—  
本郷健（大妻女子大学）
- 1AG5 次期学習指導要領に向けたプログラミング教育の体系的構築に関する一考察  
小熊良一（群馬大学）
- 1AG6 学習指導要領改定前後における情報教育の国際比較  
—プログラミング教育を含む意欲と知識に関する比較研究—  
辻龍斗（朝日町立朝日中学校），本村猛能（日本工業大学），  
横山駿也（飯能市立飯能第一中学校），  
岡部大樹（埼玉大学教育学部附属中学校）
- 1AG7 中学校 情報・技術科の学習内容を見据えた授業検討  
—デジタルファブリケーションを活用した授業—  
横山駿也（飯能市立飯能第一中学校），本村猛能（日本工業大学），  
小熊良一（群馬大学）

## 課題研究発表 2 日目

**ICT活用研究会 (2) 2026年8月30日(日) 9:30～12:00**

**A会場**

テーマ：ICTの力で拓く主体的・対話的で深い学びの未来

—人とデジタルが響きあう学びの創造—

コーディネーター：石出勉（東京女子体育大学），鍋谷正尉（渋谷区立神南小学校）

- 2AA1 AIを活用した「学習者自らが開発する個別最適な教材」の開発  
—主体的な教材開発で見える新たな学びの姿—  
坂井岳志（世田谷区立八幡小学校），岸上英幹（上智大学マスコミソフィア会）
- 2AA2 白板 html による教材作成と学習  
坂本勝（株式会社マイクロブレイン），坂本保代（株式会社マイクロブレイン）
- 2AA3 デジタル・シティズンシップ教員研修体系の整備  
豊福晋平（国際大学）
- 2AA4 小学校英語の語彙・文法習得支援のための単語選択型文作成アプリを用いた授業実践  
横林賢人（東京都教育委員会），石出勉（東京女子体育大学）
- 2AA5 教職課程「教育相談」における授業デザインの違いが学生の学びに与える影響  
—少人数授業とICT協働型授業のリフレクション比較—  
両川晃子（山梨学院大学／信州大学医学部附属病院）
- 2AA6 GIGA スクール時代のプログラミングを取り入れた学習へのアプローチ  
渡邊景子（東京女子体育大学），鍋谷正尉（渋谷区立神南小学校）

**IR活用研究会 2026年8月30日(日) 9:30～12:00**

**B会場**

テーマ：AIとともに歩むIR：多様な学内活動と響き合うデータ活用の未来

コーディネーター：白鳥成彦（東京都市大学），今井匠太郎（東京科学大学）

- 2AB1 日本版 IR 人材養成プログラムのモデルカリキュラムのレビューと今後の展開—IR  
実務者を対象としたワークショップの結果をもとに—  
大石哲也（九州工業大学），井芹俊太郎（神田外語大学），  
近藤伸彦（東京都立大学），松本清（東京科学大学），  
高松邦彦（東京科学大学）
- 2AB2 一人複数大学型国立大学機構における IR の機能と範囲  
—実務的知見に基づく構造整理と論点提示—  
西出崇（奈良女子大学）
- 2AB3 大学事務におけるチャットボット活用の実践  
—誤答を抑制するための設計と運用—  
稲倉恒法（東京科学大学），今井匠太郎（東京科学大学），  
高松邦彦（東京科学大学），松本清（東京科学大学），森雅生（東京科学大学）
- 2AB4 法人評価における達成状況報告書の作成業務への生成 AI の活用可能性について  
高田英一（神戸大学），森雅生（東京科学大学），関隆宏（新潟大学），  
大石哲也（九州工業大学），高松邦彦（東京科学大学），  
小柏香穂理（群馬県立女子大学）
- 2AB5 Edinformatics に基づく ETL ジョブの Python 再現による IR の持続可能性向上  
—東京科学大学における Waha から Python/pandas への移行実践報告—  
高松邦彦（東京科学大学），松本清（東京科学大学），  
大石哲也（九州工業大学），森雅生（東京科学大学）
- 2AB6 学生の成長進捗を活用する枠組みの検討  
白鳥成彦（東京都市大学）
- 2AB7 全国学生調査は学生の何を捉える調査か  
—I-E-O-L モデルからみた把握可能な情報と IR 活用の可能性—  
松本清（東京科学大学），高松邦彦（東京科学大学），  
今井匠太郎（東京科学大学），稲倉恒法（東京科学大学），  
森雅生（東京科学大学）
- 2AB8 2種（教養・SPI）の e-learning system ドリルを軸とした IR の活用  
—大学全過程の最適化を目指した IR データの分析—  
矢崎久（松本大学），室谷心，滝澤毅，和田佐保

**教育資料研究会 (2) 2026年8月30日(日) 9:30～12:00****C会場**

テーマ：学びの可能性を高め教育の質を向上させる教育資料のあり方

コーディネーター：又吉斎（沖縄女子短期大学），高村真希（金沢学院短期大学）

- 2AC1 養成校と保育現場における連携の在り方を探る  
—就職内定後の連携の必要性に着目して—  
高村真希（金沢学院短期大学）
- 2AC2 メタバースを活用したバーチャル工場見学コンテンツの開発と産学連携教育への応用  
—地域産業の可視化とDX実践を事例として—  
竹市朱里（岐阜女子大学），箕浦初音（岐阜女子大学），  
内山愛子（岐阜女子大学），横山隆光（岐阜女子大学）
- 2AC3 山間地小中学校における地理的制約解消のためのメタバース活用とAI学習モデルの展開  
—自律的な地域運用を目指した教育DXの実践報告—  
中島彩音（岐阜女子大学），多田恋（岐阜女子大学），  
淀川理桜（岐阜女子大学），横山隆光（岐阜女子大学）
- 2AC4 知的障害特別支援学校におけるAIを活用した働き方改革に関する実践的研究  
—学習記録の分析による評価・指導計画作成支援と職務満足感の向上—  
林優大（福岡教育大学），中山健（福岡教育大学）
- 2AC5 非言語コミュニケーションの涵養を目指した教育資料の再構成  
—小学校外国語活動「How are you?」を基にしたゲーミフィケーション実践—  
又吉斎（沖縄女子短期大学）
- 2AC6 メタバースと多言語AIを融合した地域観光DX教育の実践  
—下呂温泉をフィールドとしたフィジカルAIへの展開—  
横山隆光（岐阜女子大学），櫛彩見（岐阜女子大学），  
瀬戸敦子（岐阜女子大学），林知代（岐阜女子大学）
- 2AC7 学習選択を取り入れた探究的な学びの支援に関する実践的研究  
成瀬喜則（富山大学）
- 2AC8 デジタル・フュージョン・ラーニングを目指した学習支援システムの開発  
齋藤陽子（岐阜女子大学），久世均（岐阜女子大学）

**教育技術研究会 (2) 2026年8月30日(日) 9:30～12:00****D会場**

テーマ：テクノロジーの進展と教育技術の活用

コーディネーター：佐藤典子（甲子園大学），治京玉記（大阪人間科学大学）

- 2AD1 日本史授業における Visual Thinking Strategies (VTS) の再構成  
—美術科の美的発達段階論と歴史資料評価力育成の比較に基づく授業デザイン—  
濱田英毅（玉川大学）
- 2AD2 「情報技術」と「生産技術」の融合を目指したカリキュラム設計（1）  
—中学校「情報・技術科（仮称）」に向けての授業デザイン—  
藤本光司（芦屋大学）
- 2AD3 生成AIが拓く多世代・多機関協働の教育実践  
—大学連携と世代間共創の二事例構想から—  
三田薫（実践女子大学），及川麻衣子（山野美容芸術短期大学），  
白尾美佳（実践女子大学），治京玉記（大阪人間科学大学）
- 2AD4 生成AIを活用した言語化ゲームによる概念説明能力の評価  
若山昇（実践女子大学），草山太一（帝京大学），竹内俊彦（駿河台大学），  
立野貴之（玉川大学）

**グローバル教育研究会 (2) 2026年8月30日(日) 9:30～12:00****E会場**

テーマ：グローバル教育における国際連携と新たな知の創出

ー近未来社会を見据えたグローバル人材育成と生成AIの活用の可能性ー

コーディネーター：清水義彦（富山県立大学），陳那森（関西国際大学）

- 2AE1 A Quasi-Experimental Study on the Effects of Dynamic Grouping Based on Agent Evaluation on Project-Based Collaborative Learning  
Bao Huricha（揚州大学），Chen Nasen（関西国際大学）
- 2AE2 Deepseek と ChatGPT による成語の日本語翻訳時の効果比較  
張現挙（曲阜師範大学），袁広偉（曲阜師範大学）
- 2AE3 留学生の学修接続におけるミスマッチと支援の在り方  
ー海外日本語予備教育機関の現地調査を踏まえた生成AI・MALL活用の検討ー  
陳那森（関西国際大学），山下泰生（関西国際大学），  
伊藤創（関西国際大学），佐藤広志（関西国際大学），  
平井正朗（神戸山手グローバル中学校高校）
- 2AE4 AIツールによる中国古代文学巨匠アニメシリーズ制作  
陳思迪（曲阜師範大学），韓慧（曲阜師範大学），周柏琛（曲阜師範大学），  
王子奇（曲阜師範大学）
- 2AE5 雑誌インタビューの中国語翻訳における DeepSeek の校正効果の検討  
毛凌笙（曲阜師範大学），袁広偉（曲阜師範大学），韓慧（曲阜師範大学）

**特別支援教育AT研究会 (2) 2026年8月30日(日) 9:30～12:00****F会場**

テーマ：多様なニーズを支えるATと共に描く学びの未来地図

コーディネーター：小川修史（兵庫教育大学），新谷洋介（金沢星稜大学）

- 2AF1 特別支援学校（肢体不自由）における情報機器・支援危機を活用した授業力向上  
の方策についての考察  
織田晃嘉（国立特別支援教育総合研究所）
- 2AF2 肢体不自由者のスポーツ参加を支援するデバイスの開発 (2)  
ーバグジーに焦点をあててー  
大杉成喜（皇學館大学），庄司衣吹（皇學館大学大学院教育学研究科），  
松田凌侑（皇學館大学大学院教育学研究科）
- 2AF3 重症心身障害児の観察記録における事実の抽出と統合を対象とした学習支援シス  
テムの開発  
塩塚敬介（福岡県立太宰府特別支援学校），小川修史（兵庫教育大学）
- 2AF4 合理的配慮につながる実態把握の力量形成を支援する学習支援システムの開発  
松景実央（兵庫教育大学大学院），伊藤海都（兵庫教育大学），  
小川修史（兵庫教育大学）
- 2AF5 インクルーシブスポーツの小学校導入に向けた課題と展望  
ー出前授業を通じた児童・教員の意識変容に着目してー  
松田凌侑（皇學館大学），大杉成喜（皇學館大学）

## 一般研究発表

教材開発 2026年8月30日(日) 13:00～16:00

A会場

座長：奥田由紀恵(福山平成大学)，岸康人(高知学園短期大学)

- 2PA1 量的データサンプルメーカーの作成  
奥田由紀恵(福山平成大学)，福井正康(福山平成大学)
- 2PA2 生成AIとの協働による進路指導支援システムの開発実践  
—プログラミング未経験の公立高校教員によるGoogle Apps Script活用事例—  
佐伯拓也(大阪府立寝屋川高等学校)，若杉祥太(大阪教育大学)
- 2PA3 アカデミックライティングスキル涵養のための教材開発  
—理工系大学初年次導入科目での使用にむけて—  
宮浦崇(九州工業大学)，金子研太(九州工業大学)，  
木村智志(九州工業大学)
- 2PA4 シラバス理解支援サイトの開発と授業実践  
竹内俊彦(駿河台大学)，加藤由樹(相模女子大学)，  
加藤尚吾(東京女子大学)，石曉玲(文京学院大学)
- 2PA5 小学校算数科における概念理解支援のための作問システムの開発の試み  
土井国春(鳴門教育大学)，堀田龍也(東京学芸大学)，  
藤倉新(鳴門市坂東小学校)
- 2PA6 系統的デジタル・シティズンシップ教材の開発  
豊福晋平(国際大学)
- 2PA7 リハビリテーション看護援助場面における熟練看護師の視線行動分析  
長嶋祐子(駒沢女子大学)，立野貴之(玉川大学)，  
小野坂益成(松蔭大学)，金宰郁(松蔭大学)
- 2PA8 学習者の理解不足知識の自動特定のためのLLMによる知識グラフを援用した解  
答パターン分析手法  
岸康人(高知学園短期大学)，來栖正博(高知学園短期大学)

教育実践 2026年8月30日(日) 13:00～16:00

B会場

座長：石川敬史(十文字学園女子大学)，山本朋弘(中村学園大学)

- 2PB1 読書歴の共有を通じた教育実践の試み  
—My Reading Historyの実践報告—  
石川敬史(十文字学園女子大学)，角田圭輔(日本事務器株式会社)，  
阿加井愛香(日本事務器株式会社)，池下綾乃(日本事務器株式会社)，  
藤原叶(日本事務器株式会社)，渡辺哲成(日本事務器株式会社)
- 2PB2 LEAFを活用した小学校算数科における子どもの見取りを生かした授業改善の探  
索的検討  
岡朋哉(鳴門教育大学附属小学校)，Carlot Charline(鳴門教育大学)，  
阪東哲也(鳴門教育大学)
- 2PB3 教職大学院生を対象とした教育AIエージェント作成を取り入れた授業設計  
阪東哲也(鳴門教育大学)，Carlot Charline(鳴門教育大学)，  
Herrman Marc(Siegen University)，滝井 健介(鳴門教育大学)，  
田中茂道(寺田西小学校)，仲川和磨(鳴門教育大学大学院)，  
Witzke Ingo(Siegen University)
- 2PB4 モバイル電子入場券の導入と投票所運営コスト削減効果の分析  
金宰郁(松蔭大学)，立野 貴之(玉川大学)
- 2PB5 学習中のLINEメッセージ確認が視線行動と理解度に与える影響  
立野貴之(玉川大学)，加藤由樹(相模女子大学)，  
加藤尚吾(東京女子大学)，岡田工(東海大学)，金宰郁(松蔭大学)
- 2PB6 中学生のスマホ問題と学校の対応  
—スマホ問題を乗り越える学校の力—  
田中雄也(寝屋川市立第七中学校)，富田幸子(甲南女子大学)，  
佐々木聡(湊川短期大学)，安東茂樹(芦屋大学)

- 2PB7 「地域素材を通して育成する造形的な見方・考え方ー兵庫を題材とした3年間の系統的美術学習の実践」  
ー自然・産業・伝統をつなぐ地域素材の学びと造形表現ー  
土肥由起子（尼崎市立立花中学校）
- 2PB8 初年次教育科目における生成 AI 活用  
ーテスト2大学での授業実践に基づく国内外比較の観点整理ー  
橋本智也（大阪公立大学），橋本智也（大阪公立大学），白石哲也（山形大学）
- 2PB9 小学生による地域アーカイブの特徴分析  
埴岡靖司（岐阜県山県市教育センター），及川浩和（岐阜協立大学），  
山崎宣次（神戸女子大学）
- 2PB10 芸術大学における作品を通じた内面学習の可能性  
ー多領域混成グループにおける対話資源に注目してー  
加藤亮介（日本大学），片桐祥太（日本大学），沼田真明（日本大学），  
鳥海早喜（日本大学），宮武苑子（日本大学）
- 2PB11 家庭学習における生成 AI 活用を支援するプログラムの開発  
山本朋弘（中村学園大学）

**教科教育・教育方法 2026年8月30日（日）13:00～16:00**

**C会場**

座長：片柳木ノ実（調布市立若葉小学校），吉井直子（奈良女子大学）

- 2PC1 日本語の表現力向上に役立てる AI の活用  
ー公立中学校夜間学級における生徒のコミュニケーション力を伸ばすのを目指してー  
片柳木ノ実（調布市立若葉小学校），  
鈴木真理子（八王子市立第五中学校夜間学級）
- 2PC2 中学校社会科（地理的分野）における単元「身近な地域の調査」の授業実践  
ー中世の環濠集落・金森に焦点をあてた巡検を中心にしてー  
奥村信夫（滋賀大学教育学部附属中学校），  
館野芽生（滋賀県守山市立守山南中学校）
- 2PC3 学校教員のゲームプレイ頻度と探究学習自己効力感の構造的関係性  
ーAI活用実践度を媒介とした共分散構造分析および多母集団分析ー  
佐野雄大（徳島大学大学院），福井昌則（三重大学）
- 2PC4 日本におけるバレー教育に関する研究(3)  
井村薫子（芦屋大学）
- 2PC5 生成 AI を用いた写真・語りデータ分析の可能性と限界  
ー教職志望学生の「中学・高校時代のこの一枚」を対象としてー  
後小路正人（松本大学）
- 2PC6 ビジュアル・リテラシー育成の観点からみた美術科教育の検討  
ー中学校を対象にー  
畔田暁子（八洲学園大学）
- 2PC7 オンラインによる「自主性尺度」のシステム開発と分析  
藤本光司（芦屋大学）
- 2PC8 生成 AI を用いた振り返り学習のフィードバック  
米澤顕人（芦屋大学大学院），米澤顕人（芦屋大学大学院），  
野口聡（新見公立大学），田中雄也（寝屋川市立第七中学校），  
安東茂樹（芦屋大学）
- 2PC9 学習ログを活かした授業づくりを支える教員研修の設計  
内山有美（鳴門教育大学），阪東哲也（鳴門教育大学），  
Carlot Charline（鳴門教育大学），滝井健介（鳴門教育大学）
- 2PC10 大学教育における PBL の実践と教育的展開  
ー失敗学と創造学を基盤としたアントレプレナーシップ・キャリア教育への接続ー  
吉井直子（奈良女子大学），高田雅美（奈良女子大学）

- 2PD1 生成 AI を活用したプログラミング教育による AI リテラシーの変容  
—VBA 演習における「検証可能な成功体験」が未経験者に与える影響—  
阿久津毅（昭和学院短期大学）
- 2PD2 小中学生のネット利用実態と対応策  
—低年齢化に焦点を当てて—  
石原淳子（兵庫県立大学），仲田七海（兵庫県立大学），加藤聡（姫路市），  
竹内和雄（兵庫県立大学）
- 2PD3 小中高生のネットルールについて  
—効果的なルールづくりに向けて—  
仲田七海（兵庫県立大学），石原淳子（兵庫県立大学），  
竹内和雄（兵庫県立大学）
- 2PD4 デザイン思考学習モデルにおける段階的なリフレクションを促す指導の課題と展望  
納庄聡（大阪教育大学），若杉祥太（大阪教育大学）
- 2PD5 小学校高学年児童における感情計測データのフィードバックが自己内省に与える影響  
多田勝彦（鳴門教育大学附属小学校），阪東哲也（鳴門教育大学），  
Carlot Charline（鳴門教育大学），竹内精治（Olive 株式会社），  
曾根直人（鳴門教育大学）
- 2PD6 中学校技術分野「D:情報の技術」における認知プロセスを基にした実践に関する研究（1）  
林泰子（芦屋大学），野口聡（新見公立大学），安東茂樹（芦屋大学），  
藤本光司（芦屋大学）
- 2PD7 中学校技術分野「D:情報の技術」における認知プロセスを基にした実践に関する研究（2）  
野口聡（新見公立大学），林泰子（芦屋大学），安東茂樹（芦屋大学），  
藤本光司（芦屋大学）
- 2PD8 初等中等教育における体系的な著作権教育に関する調査研究  
—小・中・高等学校における教科書の記述比較を中心に—  
小熊良一（群馬大学）
- 2PD9 AI を活用した自然言語による Web アプリ開発  
—看護学科初年次情報科目での AI 教育の実践—  
石野邦仁子（淑徳大学），松山恵美子（淑徳大学）
- 2PD10 生成 AI を活用した児童の探究的な学習における対話プロセスの分析  
市川隆司（大阪信愛学院大学），松本宗久（神戸親和大学）

- 2PF1 生成 AI 時代における中学校「データと活用」領域の必達指標化  
—次期学習指導要領を見据えた「データと確からしさ」の再構成—  
松本宗久（神戸親和大学），市川隆司（大阪信愛学院大学）
- 2PF2 高校教育課程における履修構造と高卒認定試験への接続  
—履修充足率および残科目構造に基づく制度分析—  
藪中孝太郎（大阪教育大学大学院）
- 2PF3 生成 AI が出力する評価情報の教育的役割に関する基礎的検討  
福多朝子（川崎市立西丸子小学校），阪東哲也（鳴門教育大学）
- 2PF4 実データに基づく問題解決を促す高等学校「情報 I」の授業実践  
宮崎幸弘（松山聖陵高等学校），長井映雄（鳴門教育大学），  
阪東哲也（鳴門教育大学）
- 2PF5 大学生の生成 AI を使った面接練習に対する意識  
山崎宣次（神戸女子大学）

- 2PF6 2D ゲーム制作活動におけるブロック型からテキスト型への移行方法に着目した小学生のプログラミング概念理解に関する探索的分析  
Carlot Charline (兵庫教育大学大学院 (鳴門教育大学 所属)), 阪東哲也 (鳴門教育大学)
- 2PF7 学習ログに基づく児童生徒の学習過程の見取りの充実に向けた基礎的検討  
梶本佳照 (兵庫教育大学), 阪東哲也 (鳴門教育大学)
- 2PF8 保育ドキュメンテーション自動生成するためのスキーマ—写真記録の評価指標ベクトルとその評価—  
横田侑弥 (高知学園短期大学), 岸康人 (高知学園短期大学), 伊達諒 (高知学園短期大学), 山下文一 (高知学園短期大学)
- 2PF9 ICT 基礎科目を学ぶ学生の生成 AI に対する意識調査の分析  
増山一光 (嘉悦大学)

オンライン発表 2026年8月30日(日) 13:00～16:00

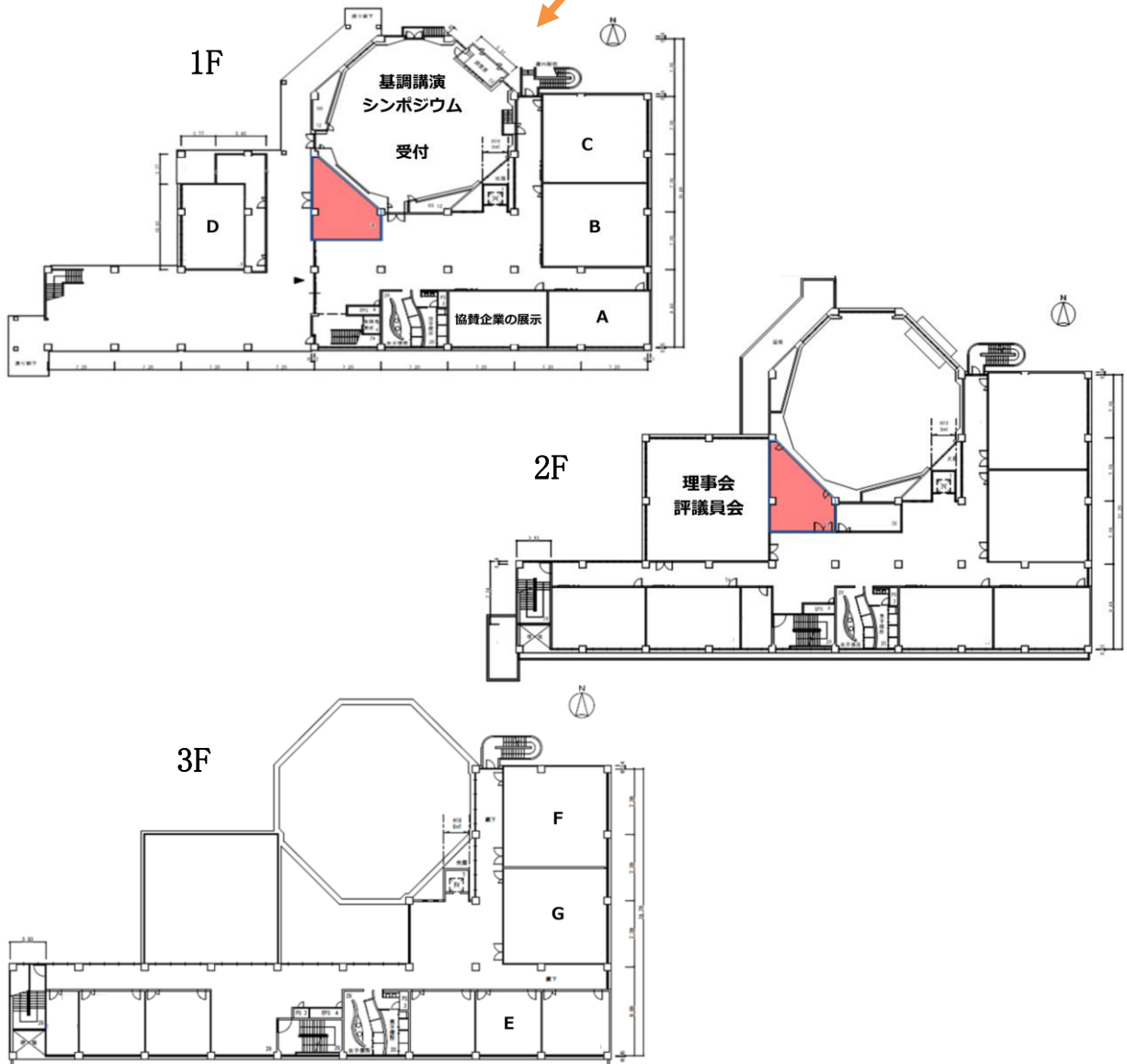
オンライン

座長：相澤崇 (都留文科大学), 登本洋子 (東京学芸大学)

- 2PO1 大学入学共通テスト「情報 I」の特徴分析  
相澤崇 (都留文科大学)
- 2PO2 誤答選択肢別フィードバック自動生成システム—生成 AI を活用した選択式問題生成システムの拡張—  
矢野口聡 (松本大学松商短期大学部)
- 2PO3 建築基準法に基づく micro:bit を活用したエレベータ教材の開発  
篠崎健一 (宮城教育大学), 塚田純 (茨城県立土浦工業高等学校), 工藤雄司 (茨城大学)
- 2PO4 生成 AI を教師のサポーターとした教育活動の高度化に関する実践的研究—教師の意思決定支援の観点から：数学・音楽・生徒指導における実践を通して—  
安藤忠展 (岐阜女子大学)
- 2PO5 宿泊・観光分野の専門日本語教材としての メタバースの有効性—下呂温泉仮想空間を用いた実践と分析—  
上原もとみ (Assumption University), Preechanarit Siriwan (Assumption University), 横山隆光 (岐阜女子大学)
- 2PO6 生成 AI 導入による IR データ分析業務の変化—研究データを対象とした事例—  
大関智史 (宮崎大学)
- 2PO7 就業体験が学生の役割充足行動に影響しているかの一考察—2, 3 年生の学年別傾向—  
田中聖華 (横浜商科大学)
- 2PO8 成果の出るプログラミング授業の要素に関する研究—e スポーツ教材とゲーム制作・比較活動に着目して—  
福島俊亮 (埼玉県立松山高等学校), 岡部建次 (次世代研)
- 2PO9 「総合的な探究 (学習) の時間」に関する生徒の意識の変化  
登本洋子 (東京学芸大学), 溝上慎一 (桐蔭横浜大学)

※オンライン発表の URL は参加申込者に別途メールでご案内します。

《キャンパスマップ》



## ◆開催方法

- ・ 対面方式で実施します。ただし、一般研究発表の一セッションはオンライン開催です。

## ◆開催までの主な日程

原稿提出	2026年6月1日（月）～7月5日（日）
参加申込	2026年6月1日（月）～8月2日（日）
論文集郵送申込	2026年6月1日（月）～8月2日（日）

## ◆原稿提出方法

- ・ 原稿は、発表採択の方にお送りした要領ならびにフォーマットに従い、作成してください。年会ウェブページ内の「原稿作成方法」にも掲載されています。PDF形式に変換したのち、ウェブページの「各種申込み」の「原稿提出」フォームからご提出ください。提出期限は 7月5日（日）深夜12時（厳守） です。
- ・ 提出するファイル名は発表コードとしてください。発表コードは、本ニュースレターのプログラムにおいて、発表タイトル前に記載されている半角英数字4桁です。
- ・ 発表申込み時のタイトル、発表者、所属など（本ニュースレターのプログラムに記載されているもの）から変更がある場合は備考欄に必ずその旨を記載してください。

## ◆発表会場で使用できる機器等

- ・ 各会場（教室）ではプロジェクターが使用可能です。
- ・ パソコンは各自で持参してください。なお、プロジェクターとの接続は **HDMI** になります。MacBook などインタフェースが **USB-C** のみの場合などには、変換ケーブルを忘れずにお持ちください。

## ◆年会参加方法

- ・ 参加申込みは、下記まで参加費等の振込みを完了したのち、年会ウェブページ内の「各種申込み」の「参加申込」フォームを選択して参加手続きを行なってください。

振込先 銀行名：三菱 UFJ 銀行 支店名：芦屋支店（483） 口座番号：普通 0171778 口座名義：日本教育情報学会年会企画委員会
---

- ・ 振込の名義は本人（参加申込者）としてください。大学ごとの団体・組織名の振込み（代理振込み）をされないようご注意ください。
- ・ 学会本部事務局への学会年会費の振込先と年会のための参加費・論文集費等の振込先は異なりますので、お間違いないようご注意ください。

## ◆各種費用

- ・ 会員（事前申込み）：参加費 3,000 円 論文集費 4,000 円 懇親会費 6,000 円
- ・ 会員（当日）および非会員：参加費 4,000 円 論文集費 4,000 円
- ・ 会員（学生）および後援・共催団体・協賛企業の方々：参加費無料 論文集費 4,000 円
- ・ 課題研究と一般研究の両方で発表する場合でも、参加費は 1 名分のみです。会員の事前申込みは 3,000 円、非会員の事前申込みおよび当日申込みは 4,000 円となります。
- ・ 学生（会員）、後援・共催団体の教職員や協賛企業の方々は、参加費は無料です。ただし、発表者は参加費が必要です。

## ◆論文集の郵送申込（年会に参加されない方）

- ・ 年会に参加されない方で論文集を購入希望の場合は、上記振込先へ論文集代を振り込みのうえ、年会ウェブページ内「各種申込み」の「論文集郵送申込」フォームからお申込みください。年会終了後に論文集を送付します。
- ・ 論文集代金（郵送費等を含む）：4,500 円

## ◆懇親会

- ・ 懇親会への参加申込みは、参加申込フォームよりお願いいたします。
- ・ 懇親会会場：和処 とみます  
〒772-0002 鳴門市撫養町斎田字大堤 322
- ・ 懇親会会場までの移動については、鳴門教育大学から送迎バスを運行します。
- ・ 参加ご希望の方は 8 月 2 日（日）までに事前申し込みをお願いいたします。
- ・ 定員に限りがありますので、参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。
- ・ 懇親会費：6,000 円（飲み放題付き）

## ◆昼食

- ・ キャンパス内の学生食堂およびコンビニエンスストアは営業していません。
- ・ 大学から徒歩 15 分程度の場所にコンビニエンスストア（ローソン）が 2 店舗ございます。
- ・ 8 月末の暑い時期であり、大学周辺の飲食環境も限られているため、昼食は事前にご準備いただくことをおすすめいたします。

## ◆宿泊

- ・ 会場には宿泊施設はありません。宿泊については、各自でご手配ください。
- ・ 鳴門・徳島エリアは宿泊施設の数あまり多くないため、早めのご予約をおすすめします。
- ・ 鳴門駅—鳴門教育大学間については、送迎バスを運行予定です。
- ・ 送迎バスの詳細な時刻表につきましては、後日年会ホームページに掲載予定です。
- ・ 鳴門市および徳島県とのコンベンション関係の都合上、宿泊予定（氏名・宿泊先・宿泊日）について、下記フォームへのご入力をお願いいたします。



<https://forms.gle/9AYkFALkoi5FZjCE8>

## ◆会場アクセス

- ・鳴門教育大学：〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748  
交通アクセス：<https://www.naruto-u.ac.jp/about/access/>
- ・大会当日は、鳴門駅前，高速鳴門バス停前，鳴門教育大学を結ぶシャトルバスの運行を予定しております。運行時刻等の詳細につきましては、後日，大会 Web ページにてご案内いたします。

《近郊からの交通経路》



《主なアクセスルート》

徳島阿波おどり空港から



高速鳴門バス停から



JR徳島駅から



## ◆広告掲載（協賛）募集

年会論文集用の広告を募集いたします。広告掲載（協賛）をいただいた企業の方には、当日会場内ブースにて、製品紹介および展示等をしていただくことが可能です。企業のPRや情報交換の場として大いにご活用いただければ幸いです。

詳細は以下の通りとなっております。会員の皆さまにおかれましてはお知り合いの関連企業にお声掛け頂き、多くの企業の方にご参加いただけるよう、ご紹介のほどよろしく願いいたします。

広告掲載申込方法などは年会ウェブページにて告知します。その他に、ご質問がありましたら、年会ウェブページのお問い合わせからお願いいたします。

協賛（料金 \40,000）		
内容	論文集掲載広告（広告1）	
・展示（1ブース） ・広告1（論文集掲載） ・広告2（フライヤー配布）	色	1色（モノクロ）
	頁（寸法）	1/1 頁（天地 240mm×左右 160mm）
	形式	Word, JPEG

### 日本教育情報学会 運営本部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4 丁目 698-1

大阪教育大学 理数情報教育系 次世代教育部門 若杉研究室

E-mail: [jsei@jsei.jp](mailto:jsei@jsei.jp) HP: <https://www.jsei-nenkai.jp/>